平成　28　年度

第5次総合振興計画事務事業評価シート

提出日	H28.9.15		
担当	課名	生涯学習課	
	グループ名	公民館グループ	

1　事業概要

(1)事業名	生涯学習振興事業費	(2)事業種別（新規・継続）	継続
(3)事業性格（政策・一般）	一般事業		

(4)第5次総振での位置づけ		(5)予算・財源等の別	
①基本目標	教育・文化の振興	①会計区分	一般会計
②大項目	生涯学習	②財源区分	町単独
③中項目	生涯学習プログラムの充実	③予算科目	款 10 項 4 目 2
④施策		④予算事業名	生涯学習振興事業費
⑤施策コード	2・1・3・0　掲載ページ 47 ページ		

(6)実施根拠		(7)総合戦略	
①事務分類（自治・受託）	自治事務	①総合戦略（該当事業名）	
②根拠法令	社会教育法		
③事業期間	開始　不明　年　月から		終了　未定　年　月まで

2　事業の目的・対象及び内容

(1)目的（何のために行うか）	(3)手段（内容・どのような取り組みか）
生涯学習の拠点施設として、町民の多様な学習ニーズに応えた教室・講座を開催し、学習意欲の向上を図るとともに地域住民の交流・親睦を深める。	一般成人対象教室（教養教室、音楽教室、健康教室等）、青少年対象教室、親子対象教室、女性対象教室、高齢者対象教室を開講する。
(2)対象（誰に対して、何に対して行うか）	(4)成果イメージ（どのような状態になることを目指すか）
町民全体	講座・教室の学習機会を提供することで、生きがいづくりを支援するとともに活気あるまちづくりに寄与する。
対象数　　単位	

(5)事業を取り巻く環境（社会環境、町民ニーズ等）、団体、議会等からの要望など

3　事業のコスト（実績・予算・決算）

（単位：千円）

項目 ＼ (1)事業(内容) 名称	生涯学習振興事業費				
決算・予算年度	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度予算
(2)事業費内訳 報償費	1,607	1,633	1,482	1,400	1,566
需用費	105	314	318	263	270
	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
直接事業費合計	1,712	1,947	1,800	1,663	1,836
(3)財源内訳 国庫支出金	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0	0
一般財源	1,712	1,947	1,800	1,663	1,836
合　計	1,712	1,947	1,800	1,663	1,836
(4)補助金名					
(5)人件費					
投入職員数	1.2	1.2	1.2	1.4	1.4
年間人件費	10,547	10,394	10,567	12,414	12,438
(6)総事業費	12,259	12,341	12,367	14,077	14,274
サービス単価	2.2	2.1	2.3	2.1	
（単位）	参加者1人あたり				

4 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標名		単位	26年度決算	27年度決算	28年度予算積算
（1）活動指標（実施した事業の量：回数、延長、面積等）					
指標名 教室・講座延べ開講数	目標値	件	74	75	76
	実績値	件	74	89	
	達成率	%	100.0	118.7	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
（2）成果指標（実施した結果として得られた成果の量と達成度：人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等）					
指標名 教室・講座延べ参加者数	目標値	人	6,000	6,000	6,000
	実績値	人	5,481	6,707	
	達成率	%	91.4	111.8	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

（3）その他指標に現れない成果

5 事業評価

（1）項目別評価

評価項目		評価		説明
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	町民への様々な学習と交流の場を提供するために必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	学びの場、交流の場、いきがいの場をつくる必要がある。
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	講座を各種別に分けることにより、自分にあった講座のみを選択し受講できる。
効率性	コスト効率性 人員の効率性	2	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	報償費（講師謝金）を抑えるため、できるだけ町内講師を依頼している。
公平性	受益者の偏り	2	1 公平である 2 どちらともいえない 3 偏りがある	いつでも、どこでも、だれでも参加できるようにしている。
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	教室・講座終了時のアンケートにおいて、おおむね満足の結果を得られている。
進捗度	事業の進捗	2	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	人気講座は継続し、更に新規講座の開設を行った。

（2）総合評価（上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。）

教室・講座の開講数や参加者は増加傾向にあるため、新規講座を開講するなどして、引き続き魅力ある充実した講座の開講に努める。

6 事業の方向性の判断

評価主体	今後の事業の方向性		説明
（1）一次評価（担当課長）	3	1 拡大 2 現状どおり継続 3 改善しながら継続 4 規模・内容縮減 5 廃止または休止	今後も、生涯学習に対するニーズは高まると思われる。公民館講座・教室の内容等を充実していく必要がある。
（2）二次評価（政策推進課長）	3	1 拡大 2 現状どおり継続 3 改善しながら継続 4 規模・内容縮減 5 廃止または休止	平成27年度、目標指標「教室・講座延べ開講数」、「教室・講座延べ参加者数」は目標値を上回った。更に魅力ある、充実した講座の開講に努める。
（3）最終評価（町長）		1 拡大 2 現状どおり継続 3 改善しながら継続 4 規模・内容縮減 5 廃止または休止	